

遺

「西太平洋戦没者の碑」を訪れ、遺族や関係者らに言葉をかける天皇、皇后両陛下。9日午前、パラオ・ペリリュー島、代表撮影



土田喜代一さん(95)はペリリュー戦を戦った元海軍

「世界の子にワクチンを」

朝日新聞

エコキャップ寄付中断

横浜のNPO

「世界の子どもたちにワクチンを」と呼びかけ、ペットボトルのキャップのリサイクルを進めるNPO法人「エコキャップ推進協会(エコ推)」(本部、横浜市)が2013年9月以降、キャップの売却益があるにもかかわらず、ワクチン代に寄付していないことが分かった。今も同じ呼びかけを続けており、寄付を受けてきた団体から疑問の声が上がっている。

13年9月以降ゼロに

矢部信司理事長は9日、事実関係を認め、「(キャップを集めている協力者を)裏切り、申し訳ない」と話した。

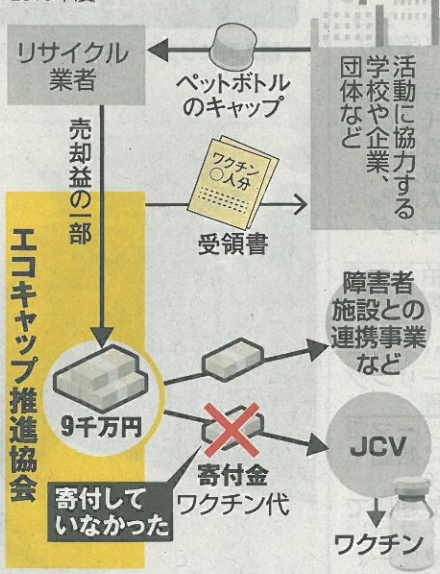
エコ推は07年設立。キャップ売却益の一部を、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」(JCV、細川佳代子理事

長)に寄付してきた。JCVはユニセフを通じ、ポリオやはしかなど感染症のワクチンを途上国に届けており、エコ推からの寄付が主な財源となっている。

エコ推は08、11年には元連合会長の笹森清氏(故人)が理事長を務め、活動は全国の学校や自治体、企業・

労組、市民団体に拡大。これまで8万5千以上の個人

エコキャップ推進協会の活動



「児童頑張ったのに」学校憤り

「大人が信じられなくな

が1年半の間、ワクチン代に寄付していなかったこと

を知らなかった学校現場からは驚きや怒りの声があがった。

エコ推は「リサイクルの輪ができていたのに」。「エコ推」

(嶋田圭一郎)

・団体が122億個以上のキャップを集めた。JCVによると、12年は2700万円、13年は8月末までに3500万円の寄付をエコ推から受けた。

エコ推の事業報告書によると、13年度(13年9月、14年8月)も売却益など約9千万円の寄付収入があった。また、キャップを集めた学校などには、ワクチン

への活用を示唆する「ワクチン〇人分」と記載した受領書を今も渡している。

矢部氏は、寄付をしていない理由について「障害者施設と連携し、キャップのシールをはがしてもらわないで、リサイクル事業の安定化に集中しているため」と説明。職員の待遇改善も進めたという。今後は「ポリオに限定したワクチン提供をしたい」とJCVとは別の国際団体などに寄付する方針を示したが、寄付を再開する時期は明らかにしなかった。受領書については「改定する」と話した。

JCVは昨年12月、エコ推に「寄付がないことの理由をキャップ提供者に説明する責任がある」などとする内容証明を送付した。

人分の20円になる」と説明している。千葉県津市では、5年前から市内の公立の全中学11校の生徒会がキャップを集めてきた。27回に分け、計601万個を集めた。最近では今年2月27日、エコ推から受け取った受領書には「累計でワクチン7193・6人分」と書かれていた。運動を進めてきた市立清和中の空閑一教頭は「ワクチンに使われていないことを」全く知らなかった。生徒たちが頑張っていたのを知っている分、信じられない」と憤った。

佐賀県基山町の町立若基小学校の堤博文教頭も「子どもたちに伝えにくい」とため息交じりに話す。ボランティア委員会の5、6年生を中心に集めてきた。「大人を信じられなくなってしまうのではないかと」堤教頭は心配する。校長らと今後対応を協議するが、「子どもたちが頑張った事実には変わらない。今回のことは伝えたいと思う」と話す。(影山寛、渋谷玄人)

福岡・大分 障害年金相談センター
運営 ぶく社会保険労務士事務所 大分 福岡オフィス

障害年金

申請無料相談会

沖縄市の女性刺さる

9日午後0時50分、沖縄県沖縄市高原住宅で女性が倒れ、を家族が見つけた。女性はこのNPO法人代表 静江さん(63)で、され死亡していた殺人事件として捜査中。県警によると、事務所の2階の居間に倒れていた。刺された傷が見つかった。田さんは不登校の支援する活動をし

女性刺さる

9日午後0時50分、沖縄県沖縄市高原住宅で女性が倒れ、を家族が見つけた。女性はこのNPO法人代表 静江さん(63)で、され死亡していた殺人事件として捜査中。県警によると、事務所の2階の居間に倒れていた。刺された傷が見つかった。田さんは不登校の支援する活動をし